

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎ 四四一四八二六)

趣味と自然破壊



新居浜市高齢者生きがい創造学園
山野草栽培教室 講師 渡部 喬

私達の住んでる国日本は、美しい国で四季があり、春夏秋冬の移り変わりと共に、いろいろな景色が見られ、植物の世界も多種多様にいろいろな花が咲いて私達を楽しませてくれます。

この様な環境の中、山草の美しさに心を奪われた我々は、身近で栽培し咲いた花に心を癒される恩恵を受けています。しかし山草栽培家は、一部の市民から眼の敵、自然破壊の元凶と言われます。しかも今はエコの時代、世界的な自然破壊が問われる時代となっております。

では、栽培家は自然破壊者でしょうか。一部の心ない方達のために言われるのであれば非常に残念です。山草で園芸化された植物はまだ少ないです。ラン科植物は無菌培養等で以前より品種数量が増えて来ます。作り方もいまいち〇〇人が一〇〇人同じように出来ません。チューリップ、スイセン、パンジー等とは違うんです。山歩きした時、道端で見つけると掘り取って帰り、自分が栽培してみようとする衝動にかられますが、グツと堪えて見るだけにしておきたい。山草展や栽培家から増えた苗を分けて貰って下さい。私はそうお願いしたい。又、めずらしい草花を追わない、追っかけない。珍品を求めるとマニアの領域です。マニアと山草愛好家とは少し違います。マニアは山で見つけたら、大金をはたいて専門園芸店から買い求めるようになります。又、利を追求するようにもなります。小遣いも馬鹿になりません。枯れてしまえば全部パーです。自分が作ってみようと思っただけの草花を上手に作り、自信が出来て枯らさず増えてくれれば苗の交換等で増やして下さい。山草は可憐な花が多いです。飽きませんか。心の癒しにもなります。自然界には数に限度があります。無尽蔵ではありません。種子を播いたり、挿し木をしたりして増やし、同好者の方へ差し上げて喜びを分かち合い、人生を楽しく有意義にすごそうではありませんか。

8	7	6	3	2	1	日
水	火	月	金	木	水	曜
書道教室 ブルスカイ(ハーモニカ) ソナタ(ピアノ)	絵手紙教室 書硯(書道) モーツアルト(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	墨友(書道) 山茶花(俳句) ウツド(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	弥生(生花) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス) 広瀬GG(ゴルフ)	サンシャイン(写真) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球) はつらつA(体操)	ブルスカイ(ハーモニカ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	男の料理教室 ピアノ教室 書心(書道) つつじ(俳句) ブルスカイ(ハーモニカ)
コンテニー(ハーモニカ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	絵手紙ひまわり ショパン(ピアノ) 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	山野草栽培教室 いとこのこ(組み木) はつらつC(体操) 桃山B(卓球) 百描会(美術)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球) はつらつB(体操)	はつらつD(体操) 亀池B(陶芸)	ショパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	午前 午後



「続・学園体育委員会だより」

新居浜市高齢者生きがい創造学園
代表者会体育委員長
渡部 悟

◇七月二十日(火) 学園第二回代表者会で、本年度のグラウンドゴルフ(以下GGと記す)大会の実施要領を説明。席上実打解説を行う。

◇八月三十日(月) 学園第一回体育委員会を開催。委員の職務分担を内定する。出席委員十四名。

◇九月一日(水) より九月三十日(木) この間学園事務局、GG教室、別子GG会、広瀬GG会で、それぞれ分担業務の準備を進める。

◇九月六日(月) 学園会議室にて、大会運営次第を確認。学園担当と正副委員長が参加。

◇九月三十日(木) GG大会に向けての練習について集計。広瀬GG会担当(全八日)の練習参加者、百四十九名(内訳、男性七十四名、女性七十五名) 日平均十八名を記録する。

◇十月一日(金) 大会前日最後の点検準備で大童。コースの設定、会場設営用品の積出しなど。本日のグラウンド状態は、昨日の降雨で最良と判断。午前中より真鍋友一さんはじめ別子GG有志の方々のコース作りお世話になった。本日集計の参加申込者数三百一名。

◇十月二日(土) 大会当日、午前六時学園集合。用具を積み込み会場へ。本部席の設営コースの設営に併せて、放送設備、駐車場設置の確認等々、八時前に準備終了、八時前来宾到着、折しも雲が去り朝日が会場に満ち中で開会式挙行。来宾挨拶で市長のユーモア溢れる話やアトラクションで会場が和む。九時前ゲーム開始。三十二のホールで一斉にスタート。壮観である。九時十分早くもホールインワン第一号が出る。女性だ。拍手の中で賞を渡す。二ゲーム連続で厳しい感もあったが十一時頃終了。直ちに集計に入り本部周辺は大混雑となる。十二時成績発表と表彰式、ラッキー賞抽せんに進み大過なく閉会。後片付を確認する。

終りに本大会の運営にご協力下さった学園事務局、体育委員、はつらつサークル、GG教室、別子GG会、広瀬GG会に感謝。

15	14	13	10	9	8	日
水	火	月	金	木	水	曜
ピアノ教室 書心(書道)	家庭菜園教室 短歌みらい 絵手紙たんぽぽ会 みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	桃山D(卓球)	なごみ(茶道) 桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ) 短歌教室 四季の組み木教室 コーラス教室 ラージボール卓球教室 書楽(書道) あすなる(俳句) さくら(茶道) ハッピー(ダンス)	はつらつA(体操)	桃山D(卓球) 別子GG(ゴルフ) 街道をゆく 書峰(書道)	午前
陶芸教室 シヨパン(ピアノ)	桃山A(卓球) 亀池B(陶芸) 絵手紙すみれ会	桃山B(卓球)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球) はつらつB(体操) はつらつC(体操)	ひろせ(コーラス) はつらつD(体操)	午後	

サークル・この貴重な存在

(ピアノサークル エリーゼ)

初めてこの学園で一步を踏み出し早いもので五年が経ちました。結婚して以来現在までずーと働いている私にとって、このピアノサークルに出席するのは喜びと又練習して悪い時の苦しみの連続でした。でも、それを続けて来られたのはサークルの仲間や先生です。

人と接する事。それを利害関係を抜きにしてとても簡単そうで今まで生きて来た年月が違うだけに難しいと思いましたがエリーゼの仲間は言いたい事も言え、私にとつては一服のやすらぎの一時です。年と共に脳も体も少しずつ老いていく現状の中でキラキラ星から始めたピアノが皆さん素晴らしい難曲をこなしていきま。何歳に成つても前に進んでいく意欲のあるかぎり、牛歩の歩みすいもので

世の中不景風が吹いていても学園に来ると空気が違います。老いを楽しむ若人の如く目をキラキラ輝かせ、先生の前で頬を赤らめる童の如き仲間達。でも家庭の事情、自分の体の事情で休まざるを得ない友も居ます。残り少ない人生だからこそ私は悔いがない時を過ごす為に先ず体と心が老いさない様に食物と運動に気をつけ、「生まれ治す事は出来ないがやり治す事は出来る」と云ったゲーテの言葉を信条に、年取ればこそ仲間を持つ事の大切さを大事にしたいと思つています。

(高津 古田 洋子)

石の上にも三年

(ハーモニカサークル ファイブミニッツ)

ベースを入れて格好良くハーモニカを吹きたいと思つて創造学園に入ってから三年が終わろうとしています。

「石の上にも三年」何事も三年経てば何とかなるはずですが、私のハーモニカは三年経つても一向に上達していません。本当ならば今頃はベースを入れて格好良く吹いているはずだったので。

私は、中学校でハーモニカを習つたので簡単に考えていたのが全然違つていました。私は手を動かして吹いていました。が教室では口を動かして吹くのです。これが仲々うまく行かず、やっと出来るようになる。と今度は音が混じつてしまつて……。でも宇佐美進先生の上手なご指導と仲間の温かい励ましのおかげで続ける事ができました。

今になって自分が上達しないのは練習不足である事を痛感しています。いくら「石の上にも三年」と言つても何もしないで苔は生えて来ません。毎日水をやり続けてこそ生えて来るのです。上手な人は毎日熱心に練習されているのですね。

三年目の学園祭まで四ヶ月位ですが、今までなまけていた「毎日五分間」の練習を続けて、皆さんと一緒に学園祭で演奏したいです。「石の上にも三年」と「ファイブミニッツ」余生の指針になりそうです。

(金子 鈴木 峰子)

日	曜	午前	午後
15	水	そよかぜ(俳句) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球)
16	木	書峰(書道) 歩こう会 遊歩2007 フレッシュ2009 やまびこ ウオークひうち ウオーカーズ別子 はづき(句碑) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球) はつらつA(体操)	ひろせ(コーラス) はつらつD(体操) 亀池B(陶芸)
17	金	茶道教室 ハッピー(ダンス) 桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球) はつらつB(体操)
20	月	さくら(茶道) きさらぎ(生花) ハッピー(ダンス) 桃山D(卓球) いとのこ(組み木) 墨友(書道)	百描会(美術) ウッド(組み木) はつらつC(体操) 桃山B(卓球) 桃山A(陶芸) 亀池A(陶芸)
21	火	絵手紙教室 書硯(書道) 梅(俳句)	絵手紙さくらんぼ シヨパン(ピアノ) みどり(茶道)

一年生になったなら

(講座 茶道教室)

私が、初めてお茶席にお誘いを受けたのは、四十五年ほど昔のことです。ある会の文化祭での、野点の席でした。芝生の上に緋毛氈を敷き、着物を着た女子社員が、日ごろとは違う歩き方で、静々とお運びをされていた姿を、今でも思い出します。

初めてのことで、緊張している私に「気楽にお茶を楽しんで下さい」と優しく声を掛けてくれるのですが、お菓子を何時食べたらいいいのか、お茶が運ばれて来ても、さてどう飲めば良いのやらと、戸惑うばかりでした。その後、お茶席へのお誘いを受けることが多くなり、その度に、作法に則って楽しく、味わいながら、お茶が頂けるようになりたいと思いつけてきました。

私も今年、後期高齢者一年生となり、新しいことに挑戦する最後のチャンスかとも思い、茶道教室の受講を申し込みました。

金村宗裕先生と、お二人のアシスタントの先生による、熱心なご指導にもかかわらず、お点前は一向に上達しません。しかし、理にかなった茶道の作法や、亭主と客との思いやりの心等を教わり、回を重ねるごとに、教室への参加が楽しくなりました。教室の生活の中で、お茶が楽しみました。人生さらに充実するのではと感じています。

(船木 高橋正夫)

講座「茶道教室」

—お手前の上達と茶道の作法を学ば—



◆今月のロビー展◆

(十一月十九日～十二月二十二日)

絵手紙教室

絵手紙たんぽぽの会

*二十三年一月の予定

陶芸教室(講座)

書道教室(講座)

写真教室(講座)

ねこやなぎ(川柳)

Table header with columns for date, day of the week, and time (午前/午後).

Main table listing events for Dec 21, 22, 24, and 27, including names of participants and instructors.

◆ご恵贈お礼◆

◎ロビー生け花(十一月度)

◎川柳にいはま 十一月号

◎図書「席題ヨイドンとおりおりのこと」

◎図書「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み—先人の偉業と塩田の歴史や文化の伝承—」

◎川柳にいはま 十一月号

◎図書「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み—先人の偉業と塩田の歴史や文化の伝承—」

◎川柳にいはま 十一月号

◎図書「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み—先人の偉業と塩田の歴史や文化の伝承—」

◎川柳にいはま 十一月号

◎図書「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み—先人の偉業と塩田の歴史や文化の伝承—」

◎川柳にいはま 十一月号

◎図書「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み—先人の偉業と塩田の歴史や文化の伝承—」

◎川柳にいはま 十一月号

◎図書「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み—先人の偉業と塩田の歴史や文化の伝承—」

◎川柳にいはま 十一月号

健康美ありがとう・万歳!

(体操サークル はつらつD)
 講座生を経て、健康美はつらつ生にな
 って九年目になります。その間、「健康」
 だけでなく「美」も求めて多くの事を勉
 強しました。衰えてゆく体力や筋力を維
 持する為に、ラップやチューブ、椅子等
 を使ったの体操を教えていただきました。
 お陰で、膝が痛くて歩く事も辛かったの
 ですが、以前の様に歩く事が出来る様
 になりました。

又、私達の年齢になってこわいのが、
 動脈硬化です。いろいろな病気をひきお
 こします。その為の運動はもちろん食事
 の面でも教えていただきました。いろい
 ろ勉強する一方、楽しみもありました。
 去年はみんなで沖繩へ行きました。孫
 の様な若者達との「エイサー」交流です。
 小気味よいバチさばきや、躍動感あふれ
 る力強い演技、腹の底からの掛け声、は
 ちきれんばかりの笑顔等々、知らず知ら
 ずのうちに両手を握りしめていました。
 今年も又皆で沖繩遠征に行きます。あ
 の若者達に会えるのを楽しみにしていま
 す。毎日雑事に追われて過ごしている私
 にとつて、こうしたさまざまに思いや体
 験は、人生に於いて大きな喜びでもあり、
 大切な財産にもなっていると思っていま
 す。素晴らしい青木三恵先生や、良い仲
 間達に出逢えた事、私はとても幸せ者だ
 と思います。

健康美ありがとう・万歳!
 (多喜浜 小野 美恵子)

心にビタミン

(サークル ウォークひうち)
 今日は月に一度のウォークひうちの活動日。
 次々に集まってくるお馴染の顔に笑顔が広がり
 ます。今回の行先は西予市です。

サービス精神満点の運転手さんの名調子に聞
 き惚れている間に、バスは道の駅(どんぶり館)
 へ。つい色々買ってしまった。野村ダム
 の傍を通って桂川渓谷を散策した後は、楽しいお
 弁当タイム。お菓子に果物コーヒー等沢山の差
 入れを頂いて談笑は尽きません。次に訪れた龍
 澤寺は堂々たる威容を誇る古刹でした。とても
 高い天井を持つ風格ある建物。細部に施された
 意匠。歴史の重みを感じさせる佇まいでした。

最後に訪れた卯の町では、しっとりした白と
 黒の中町の家並を抜け開明学校へ。モダンでレ
 トロな明治の小学校の小さな椅子に腰をおろ
 し、先生役の女性によるミニ授業が始まると、
 その場は一気に懐かしい子供時代にタイムスリ
 プしたかのようでした。その後、目にした高野
 長英の隠れ家は、一際小さな土壁の家と、薄紫
 のヤブランの花に彩られた素朴な庭にいとしさ
 を覚えました。

穏やかで優しい仲間達とお喋りをしながら自
 然や歴史に恵まれた地を訪ねる喜びはひとしお
 です。(これもみな役員の皆様のお蔭ですね)
 再会を約束した後、心と体にビタミンをいっぱ
 い貰った私は、温かくなった心を抱いて帰路に
 つくのでした。

(金栄 石田 信子)

おまけの人生

(俳句サークル あすなる)
 「雪はげし抱かれて息のつまりしこと」私の憧れ
 の女流俳人橋本多佳子さんの句です。
 学園の皆さんもそんな熱い想い出の一つや二つは
 お持ちのことと思います。

私の句にも
 「あじさいや吾にもありし恋の日々」
 というのがあります。私も若い頃は恋もし青年団活
 動では、太鼓馬鹿で一週間会社を休んだ事もありま
 した。

凡そ五十年余りの会社人間等の後、平成九年妻と
 呆け防止と年をとつて体が動けなくなつても出来る
 共通の趣味を持つとうと、学園の俳句講座に入り坂上
 史琅先生のご指導を頂くようになりました。良き師
 と良き句友に恵まれ、句会の帰りにはモーニングを
 食べ乍ら俳句談議をしたりと楽しく学び乍ら段々と
 俳句が生活の中に定着してきました。妻はその後病
 を得て平成二十年

「退院の挨拶羨し春の雨」
 の句を最後に亡くなりました。

私は只今八十才、人は「平均寿命を過ぎたらおま
 けの人生」と言います。私もおまけの人生を感謝し
 つつ送りたいと思っています。

「露の世を生き甲斐俳句詠みながら」
 「身の内に燃ゆるもの欲し枯尾花」

(角野 塩崎 蓮長)

サバイバルの記憶

(講座 山野草栽培教室)

この夏の暑かったことといったら……。アフター60は、陽のあたる縁側でデブ猫など抱えて茶のみ話。そばには山野草の鉢の一つ二つあったらいいかしら？などというイメージで、今年山野草教室に籍をおいたのでした。

山野草というのは一体に冷涼な環境を好むものが多いと素人ながらに思います。が、教室で毎回のよう配られる苗、挿し穂、球根、種など。元々が無精者の上に、山野草の栽培には制約が多い集合住宅のベランダで、無事にこの夏を過ごさせることが出来たのは僅かでした。

それだけでなく、講師の先生によると「山野草に魅せられると、一年中朝から晩まですること、したいことに事欠かない」のだそうです。

長すぎた夏のあと、秋を素通りしたかのように冷え込む季節。いま三日ほど前にあわてて鉢やプランターに蒔いた微小の種がもう木綿針ほどの緑の芽を出しています。

チク、チク、チク、チク、チク、チク……。来春には青紫色の小さくかわいいうちアヤメが沢山花を咲かせてくれるでしょう。生き延びた花や枝たちが、これから長く2010年夏を思い起こさせてくれるでしょうか。

(金子 大西 佳代子)

夢だったピアノ！

(講座 ピアノ教室)

私の年齢からピアノをスタートさせる人は少ないのではないのでしょうか？

まさか夢が現実になるとは思ってもいせんでした。家にピアノもなく、ただピアノが両手で弾ければと憧れていました。

今まで出来なかった事をひとつづつやろうと思っていた時、人の出会いが私の背中を押してくれました。それが初めてのピアノとの出会いです。

ピアノも買いピカピカの一年生となりました。ピアノ教室で努力していく仲間と一緒に少しずつ成長出来ればいいと思つています。中には経験されている人もいますが、何も知らなかった私が高橋恵里先生のご指導のお陰で少しずつでも前進していく自分の姿があります。いい人達に見守られながら、後れ咲きの花を咲かせたいと頑張っています。

学園に通っている人達を見ながら元気をもらい、頭を働かせながら勉強し、ピアノの音に癒され、人生の「生きがい」を持つて過ごせればと思っております。

素敵なチャンスを与えてくれた人達に感謝し、健康な限りピアノと付き合っつて沢山の思い出を残し、楽しく笑顔を忘れず日々努力して行きたいと思っております。

(角野 片岡 久代)

組み木と取組む

(講座 四季の組み木教室)

一昨年、離職を機に高齢者生きがい創造学園の一受講生と成りました。

昨年度の学園祭で、初めて組み木の作品に接し感動！「私もこんな組み木のお雛さんを作りたい」との思いで「四季の組み木教室」に申し込み、幸運にも一度目で受講が叶いました。初めての糸鋸は、思う様には動いてくれず、四苦八苦のスタートでした。

第一作目の作品(コースター)は、切り目が歪んだり、凹んだり、一部が取れたり、思うような仕上がりには出来ませんでした。本当に感激しました。

半年が経ち作品としてはまだまだですが、白石美枝先生の優しい御指導と、サークルの先輩方の御協力で毎月異なった作品に挑戦し、二回のロビー展にも出品させて頂きました。

教室の皆様も出来栄を褒めあったり、失敗談を話し合ったり、和気藹々楽しく作品作りに取り組んでいます。

早く先輩方の様な素敵な作品が出来る事を目標にまた、講座を通じて交流を広めていける様頑張りたいと、思っています。

(大生院 白石 晴美)

このひとから

(書道サークル 書硯)

絵画や書等、人様の作品を鑑賞する事には興味があり、よく学園には出向いておりましたが書を嗜むと言う事を大の苦手としていた自分が縁あって書道サークルに入る事になったのは不思議でした。毛筆で文字を書くことの難しさは良くわかっておりましたが、自分でもしっかり練習すれば何とか人並みに出来るのではとの考えでした。

毛筆で書いたこともない自分、読めない変体仮名を何回も繰返し練習していくうちに少しずつ筆の運び方が習得できて来ました。未だ自分なりに満足していく字には到達できませんが川本久美子先生のご指導のおかげで少しは上達して来たかなと思っている昨今です。

大ベテランは見ているだけでも楽しんで筆を走らせているように見受けられますが、私も早く前向きな姿勢で書道を楽しめるようになりたいものと思っています。

皆様の素晴らしい作品を見せて頂き、鑑賞眼は腕より遙か上をいつている私ですが、何はともあれ自分に不足しているノウハウをゆっくりで良いから身につけて少しでも向上させたいと思っています。いつの日か自慢出来る作品を我が家の床の間に飾って家族に見てもらえるよう精進してまいります。

(中萩 新名 政子)



十一月のロビー展「書硯」の一角

やさしさをあなたから

(サークル 絵手紙さくらんぼ)

ピアノを弾くようにパソコンを使っていた仕事人間が、仕事を離れてふと空いた時間。「絵手紙教室」私にもできるかしら。

以前にみたあの絵手紙。片手に治まる葉書から飛び出すような絵。添えられた一言の強烈さ。運よく入講でき今年で三年目になります。その間父の介護が入ったり、仕事に復帰する事もあり、止めようと思ったこともありました。そんな初学の私に秋山登美子先生は「七年、寝たきりの義母を介護し、その横で毎日筆を持ったのよ。止めるのは何時でも止められるんだから。今少し続けてみては」と励まして下さいました。

何より絵手紙は「へたでいい。へたがいい」が最大のキャッチフレーズ。自分がかいた絵手紙をポストに入れる時のワクワク感。これがたまらなくいい事をしていっているような錯覚に落ち入るので。

そうして差し出したあなたからまたメッセージが届きます。お礼の長い電話だったり、玄関に飾ったとか、涙が溢れて止まらなかった。・とか。そんなメッセージをもらった途端、はっと気がつきました。

あなたへやさしさを。ではなくて、本当は、やさしさをあなたからもらっているのだということ。

(中萩 飯尾 登貴子)

子規顕彰全国短歌大会 入選歌

○日時 平成二十二年十月十七日(日)
○場所 松山市立子規記念博物館

《特選》

九九を唱え下校する子のランドセルに防
犯ブザーが左右にゆれる 高橋 征子
高速のトンネル抜けければ目の前に紅き満
月ののつと出でくる 佐藤 順子

《入選》

山峡の棚田にラジオひびかせて媪は一人
田植えに励む 竹内 芳子
真直に歩みし筈と思いに自負がゆらぎ
ぬ靴の片減り 石井 典一
治療法決まらぬ夫と見る窓辺あじさいの
毬雨に濡れおり 高橋 征子
こづかいの欲しい時だけ顔見せる十六歳
になりたる汝は 尾崎 幸子

第15回 東予GG協会【三島】大会

開催日 十一月六日(土)
場所 三島総合運動公園
多目的グラウンド

入賞

団体 三位 別子一A 一九一打/2R
藤原年治 津乘弘志 矢野幸治
薦田明世 原 義夫
五位 別子一B 一九五打/2R
飯尾邦彦 直野時子 高橋寛昌
大賀久美子 稲見千嘉子
個人 優勝 藤原年治 二七打/2R
四位 飯尾邦彦 三一打/2R

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

早朝の祖谷溪谷はしろじろと雲海ただよい神
秘の世界 越智 麗子
石鎚は時雨いるらしかすみいて鬢黠とせし吾
現身のごと 加藤 千春
天空の銅鉦積みし駅舎跡ヒユツテとなりて炊
煙上がる 齊藤 哲雄
物干しに昨夜の雨のひとしづく虫の音かすか
秋しのび来る 坂田 純子
世界の目その一点に絞らせて三十三人地底よ
り帰る 瀬崎 貞三

学園柳壇

サークル「ねこやなぎ」

今年こそその決意果たせず早師走
やさしいがなかなか芯のある男 村上美智子
政治家の歩合制などいかがです 細川 衛
八十の坂あれこれと不眠症 石田 恵子
今日もまた汗と笑顔のボランティア 伊藤 敏教
伊藤 純子
母の声まだ耳にある七回忌 井原みつ子

学園俳壇

サークル「そよかぜ」

風船も歓喜も空へ秋祭り
朝日射しガラス細工の樹氷林
電柱の片陰歩く残暑かな
横山美喜代
芝田志津子
徳原 一遥

サークル「あすなる」

児に聞かす疎開の話敗戦忌
デジタルにふる青春夏の浜
父の辞書黴の匂いもなつかしき
森実みよ子
真田 孝夫
石川伊津子

サークル「山茶花」

天空の厳しき峰や錦冨え
すやすやと眠る嬰泣かす威銃
蜘蛛の糸油断の顔にかかりたり
林 義廣
石川久美子
上村扶佐子

サークル「梅」

蝉時雨今朝の味噌汁具だくさん
ひとり居の小さき灯火秋深し
軍鶏一羽絞めて故郷の秋祭
佐々木俊行
佐藤寿見子
曾我部剛生

サークル「つつじ」

磴のぼる歩みをあわす七五三
脱藩の道は坂道木の実落つ
早朝のラジオ体操敬老日
永海 平三
福永やすし
浜田美智子

新涼や屋根葺き替へる屋根付橋
岳人の巨大リュックに大学名
海へ倒れる燈台の影秋西日

講師 阪上 史琅